

テトラ・アビエーション株式会社

100kmを30分で移動する空飛ぶクルマ(eVTOL)の製造・販売



teTra Mk-7

次世代エアモビリティ社会を実現する電動垂直離着陸機「Mk-7」を開発しています。

これまでに開発してきた機体を基に、完成度と信頼性を大幅に向上させた電動航空機です。

二酸化炭素の排出を抑える環境に優しい設計となっており、持続可能な社会の構築に貢献するとともに、そのコンパクトな設計により、都市部や山間部などの狭いスペースでも運用が可能です。

将来的には無人運用にも対応できる柔軟性を持っています。



エアタクシー事業

環境への配慮、安全性、そして柔軟性を兼ね備えた次世代エアモビリティの象徴である「Mk-7」を民生用に販売するだけでなく、自社でエアタクシー事業を展開する計画を立てています。

この事業を通じて、都市部と郊外をつなぐ次世代の移動手段を普及させ、低空域経済圏に新たな価値を提供します。

概要

「移動」をより便利で快適にするための、eVTOLを開発しています。eVTOLとは、ヘリコプターやドローンのように、好きな場所で垂直に離着陸できる電動の航空機で、今まさに誕生しようとしている新しい乗り物です。

2020年2月に米国Boeingがスポンサーを務める国際eVTOL開発コンペGoFlyにて「Mk-3」を開発し、賞金を獲得。その後、一人乗り「Mk-5」を開発し、2021年7月に米国にて発表。2023年10月より本社を南相馬市の復興工業団地に移転し、現在は2人乗り「Mk-7」を開発中。

Mk-7の機体設計と基盤技術を活用し、物流分野や調査・偵察分野での活用を視野に入れた派生モデルの開発を構想しています。これにより、災害時の迅速な点検や過疎地での物資の早期輸送、航空検査の省人化といった社会課題の解決を目指しています。

実生活における人々の選択肢を増やし、移動を活発化し、実世界での体験をより多様で豊かなものにしていきます。

【基本情報】

団体名	テトラ・アビエーション株式会社
事業内容	空飛ぶクルマの研究開発
研究室	9号室
サイトURL	https://jp.tetra-aviation.com/
連絡先	contact@tetra-aviation.com

